

早や売切れ 一期生二三名

来春卒業の学士看護婦さん

嫁一人に婿八人？

日医では既報の如く保健婦助産婦看護法(昭和二十三年公布)を改正し現在の進修看護婦と看護婦の二本建てを止めて、現看護婦を准医師とし、現進修看護婦を看護婦と呼び別に三十四カ月の講習後に検定試験による登用の道を開こうとしているが、これに対し日本看護婦協会では「旧制度への後退」と激しい反対姿勢をあげている。こうした情勢中に東大医学部衛生看護学科第一回卒業生が来春三月卒業する訳であるが、この「学士看護婦さん」たちの就職状況はどうか？

来春には全員就職

嫁一人に婿八人とまではいかないが、卒業生二十三名のうち教員志願の三名を除いて全部決定、売行きは上々というところ。中、高教諭志願者四名のうち三名が決まらぬのは十二月に面接があるためでこれも来春には決る。就職先について見てみると次の通り。

労働基準局

就職先 卒業生 決定

保健衛生教師 (中学校教諭、大学助手)

衛生管理員 六 六

(三菱金属 浦賀トック、警視庁、国鉄等) 三 三

都市公吏 三 三

(横浜市衛生局 都衛生局)

臨床看護関係 五 五

(当教室、三井厚生病院、賛育会病院)

研究所技官 四 四

(労研、東大放射線教室)

保健衛生教師 (中学校教諭、大学助手)

このクラスが入学した当時は三二名であったがこのうち四名が中退五名が留年者で卒業見込は二三名となっている。大学助手になるのは未定であるが、保健科助手の定員を持たない大学が多く、この学科卒業生が出るといって受入れ側でポストを作るために狼狽して交

臨床希望増加

留年者というのは病気、経済事情単位不足のため本人の意志で卒業を保留している者でこの点は一般の大学と変わらない、第一回は公衆衛生を志す者が多かったが、二回生以降は臨床看護を志す者が多くなりつつある。これらの学士看護婦が病院に入るとますます下っぱの仕事からやりされるが幹部候補生として数日後にスタッフナースになる訳である。これらの学士看護婦と従来の正看護との間には将来色々な面で摩擦も考えられるが臨

床看護に当りながら世界の看護の動向、医学の進歩、公衆衛生の発展に注意を払えば指導的な地位を自然に作り得ることになる。都会にはほとんど大病院が建てられつつあるので就職のチャンスには自分自由はなく、東大病院などに就職する場合でも一度他の特殊病院で数月の修練を経て、新病棟が出来ると頃に呼び戻されて主任と

大阪府庁医務課の話 大学出の看護婦と現在の看護婦との資格の差はないが、大学出は世間一般の新制大学卒業生の給与を受けられる。